



フィリオ30(サーティ)は？

< 強力性と即効性について >

強力な除菌効果で知られるアルカリ性の“次亜塩素酸ナトリウム(NaClO)”は塩素化学種が殆どの“次亜塩素酸(HClO)”で除菌効果が発揮されます。PH6~6.5(弱酸性領域)にする事で、その次亜塩素酸(HClO)は90%以上となり、除菌効果は更に強く発揮される事は広く知られています。フィリオ30(サーティ)は、塩酸やクエン酸などの“酸”を加えず(無添加)PH緩衝力の持つ水素イオン交換体でNaClO⇒HClO(NaをH)に変換させ、高い純度と安定性を追求した最新の画期的な技術(2015年1月特許取得)で弱酸性領域に安定化させた特許取得の次亜塩素酸水溶液です原液は有効塩素濃度0.05%(500ppm)で水道水による希釈でも弱酸性領域で使用でき、安定した除菌効果を発揮出来る為、コストや作用時間によって、希釈の調整も可能です。

第三者検査機関による

| 対芽胞の除菌効果 | 10m 中/菌数 830 万個に対して | 100cc 辺りのコスト※4L 業務用計算 |
|------------------|---------------------|-----------------------|
| フィリオ30 原液 500ppm | 10秒 <1 | 196円 |
| 5倍希釈 100ppm | 1分 <1 | 40円 |
| 10倍希釈 50ppm | 5分 <1 | 20円 |
| 20倍希釈 25ppm | 5分 <1 | 10円 |

※<1は菌が検出されなかった事を示す

< 安全性について >

手肌にやさしい弱酸性で、塩素ガスの発生の心配もなく、環境や人にやさしく、強力でも、一般家庭でも使用できるレベルの高い安全性と、次亜塩素酸ナトリウムに比べ、漂白作用や腐食作用が少なく、細菌やウイルスを素早く除去し、分解後は残留塩素の低い水になっていきます。残留性も殆どなく、拭き取りも簡単です。。

但し、スチール製の材質は、長く放置したり、長時間漬け置きすると、サビの原因になります。

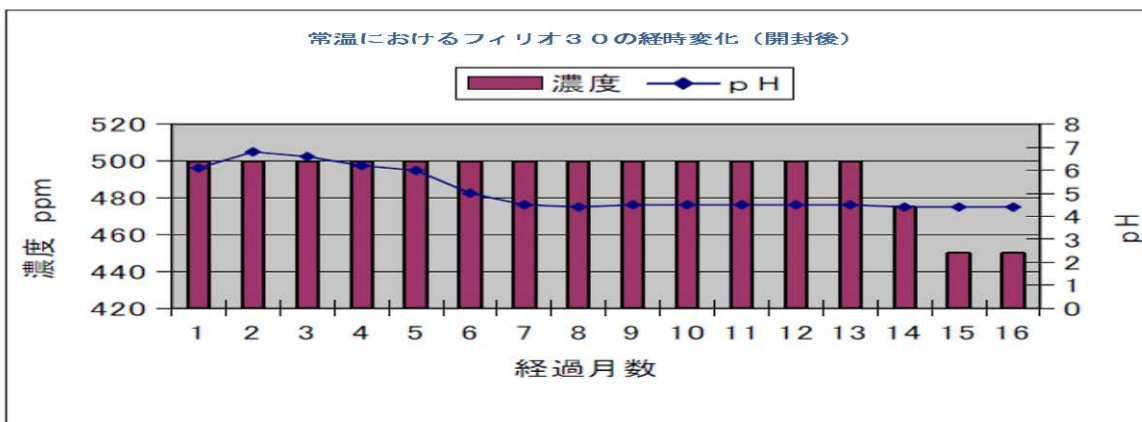
原液 50ppm で、白衣などの材質は変色の心配はまず、ありませんが、タオルなど、一部 変色する場合があります。

錆びやすい又変色しやすい材質には、通常使用濃度の5倍希釈以下で御使用ください

<特許製法による 安定性について>

フィリオ30 500ppm 経時変化(開封後)

| 測定日 | フィリオ30 500ppm | | 保管場所 |
|--------|---------------|-----|--------|
| | 濃度 | pH | 温度(暗所) |
| 3月22日 | 500 | 6.1 | 12℃ |
| 4月25日 | 500 | 6.8 | 15~18℃ |
| 5月25日 | 500 | 6.6 | 25℃以内 |
| 6月20日 | 500 | 6.2 | 25~30℃ |
| 7月7日 | 500 | 6 | 25~33℃ |
| 8月21日 | 500 | 5 | 30~35℃ |
| 9月24日 | 500 | 4.5 | 30~35℃ |
| 10月24日 | 500 | 4.4 | 20~25℃ |
| 11月25日 | 500 | 4.5 | 10~20℃ |
| 12月25日 | 500 | 4.5 | 5~10℃ |
| 1月25日 | 500 | 4.5 | 5~10℃ |
| 2月20日 | 500 | 4.5 | 5~10℃ |
| 3月10日 | 500 | 4.5 | 5~10℃ |
| 4月10日 | 475 | 4.4 | 10~20℃ |
| 5月9日 | 450 | 4.4 | 10~20℃ |
| 6月12日 | 450 | 4.4 | 25℃以内 |



徹底した品質管理

安定性を追求した特許製法により、長期的(1年)。更なる拘りは 新鮮をモットーに“受注製造”システムで 全品 PHと濃度を国産のデジタル測定器で計測し、出荷しております。

※原液は、1年以内 希釈した液は3カ月以内 (水道水で希釈する為) ご使用ください。
温度の低い場所、陽の当たらない場所に保管してください。

上記 の消費期限を基準にして、選択してください

4L
500ppm 弱酸性



20L
500ppm 弱酸性



1Lシャワーポンプ
500ppm 弱酸性

